

浅井かわら版

第 48 号
令和3年3月
浅井報徳地域振興会
総務広報部会

§ ちょっとサポーター意見交換会 §

浅井支え合いを考える会は、2月12日（金）午後1時半より、浅井ふれあい館の運営に協力して頂く「ちょっとサポーター」の皆さんを招き、意見交換会を開催しました。



先ず、これまでの「浅井ふれあい館」の活動内容や関係者の皆さんからのアンケート結果を報告し、引き続いて、次年度の方針その他について参加者の意見を伺いました。

§ 浅井地区社協 研修会 §

浅井地区社会福祉協議会は、視察研修がコロナ禍で受入れ困難な施設が多くて実施できず、代わりに2月16日（火）午後7時半より浅井コミュニティセンターで研修会を開催しました。



講師の宮村登茂子さんは、国際協力機構(JICA)の海外協力隊員として、2017年から2度アルゼンチンへ赴任されましたが、昨年3月に新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴い急遽帰国することとなり、現在は再赴任を目指して待機中とのことで、現地での活動の様子を伺いました。

§ 浅井支え合いを考える会 §

浅井支え合いを考える会は3月5日（火）午後7時半より、市役所等から来賓を招き、浅井コミュニティセンターにて役員会を開催し、令和2年度の活動報告と3年度の事業計画（案）について説明して了解を得ることができました。



浅井地区は、コミュニティセンターで運営している「浅井ふれあい館」と各自治会で開催している100歳体操グループを含めると、110名以上の実質的参加者がいるので、今後とも連携して活動していくこととなります。

§ 検温器（サーモメーター）導入 §

浅井コミュニティセンターでは、施設を利用する場合に必要な体調管理（検温）のため、100V電源のサーモメーター式検温器を導入しました。玄関フロアにありますので、センサーの前に立って検温してから入館してください。

§ センター職員を募集しています §

現在、浅井コミュニティセンターの職員を募集しています。浅井報徳地域振興会と雇用契約を結び、射水市コミュニティセンター条例に基づき、地域振興会が行うまちづくりに伴う事務を取り扱って頂きます。

自薦他薦を問わず、地域の方の応募をお待ちしています。詳しくは、センター長(Tel52-4702)又は各自治会長にお問い合わせ下さい。

各部の活動の紹介

【健康福祉部】

ふれあい館 クリスマス会 12月24日



「浅井ふれあい館」は、12月の恒例イベントとしてクリスマス会を催し、ツリーを飾りつけ、ミニ・ケーキを頂いて楽しく過ごしました。

【生活環境部】

PTA資源回収 3月7日



大門小学校PTAは今年度最後の資源回収を行い、住民達はそれぞれが自宅に保管していた段ボールや新聞紙等を浅井体育館の前に運びました。

【健康福祉部】

ふれあい館 初釜 1月7日



「浅井ふれあい館」は、令和3年の初イベントとして初釜を行い、和菓子と抹茶のお点前を頂き、日本のお正月の伝統文化に親しみました。

【健康福祉部】

浅井地区社会福祉協議会定例会 3月16日



浅井地区社会福祉協議会は、3月度定例会を開き、一人暮らし高齢者など生活支援を必要としている人達に応援グッズを贈呈することとしました。

【安心安全部】

消防団出初式 1月9日



射水消防団浅井分団は大雪のため今年の出初式を浅井コミュニティセンター2階会議室で開催し、出席した関係者30名余りが防火管理の誓いを新たにしました。

【安心安全部】

コミュニティセンター消防訓練 3月17日



浅井コミュニティセンターは、今年度2回目の消防訓練として、利用者の皆さんと一緒に通報訓練、避難訓練、消火訓練を行いました。

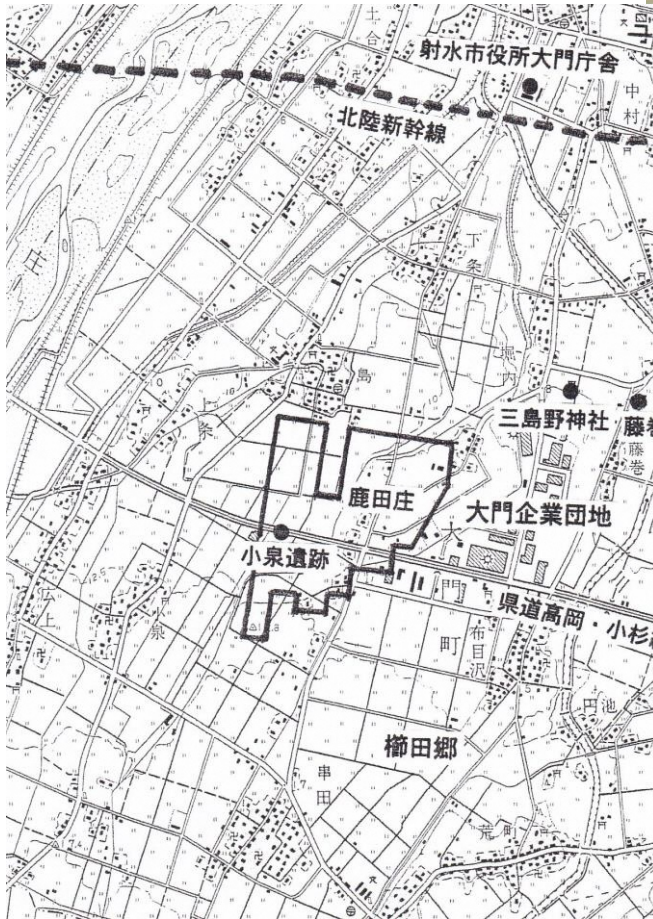
【生涯学習コーナー】

生涯学習講座 「東大寺領荘園“鹿田庄”と浅井」

12月5日(土) 14:00~15:30

《講師》 久々 忠義先生

浅井コミュニティセンターは 12 月 5 日（土）14:00 より、浅井地区生涯学習講座として「東大寺領荘園“鹿田庄”と浅井」と題して、奈良時代の鹿田庄開拓史とそれに関連して浅井地区に伝わる歴史ロマンを伺う機会を設けました。



広上にあったと伝わる公道(こうどう)神社についても、これは「河戸(かわと)」が訛って「こうどう」となったもので、古くはここに船着場があったことを示す痕跡、と解釈されるそうです。

莊園から産出した米を、鴨川上流の広上の船着場から、東大寺その他の莊園領主の館へ向けて船積みされた昔の風景が偲べます。



平成 27 年 7 月以来、足繁く浅井コミュニティセンターに通って、島・小泉・牧田地区に東大寺領荘園「鹿田庄」があったことを、東大寺正倉院に残された古文書を読み解いて解明されたのは、高岡市の歴史家盛野成信さんですが、今回は共同研究者で小杉にお住いの久々忠義さんを講師としてお招きしました。

久々さんは、当地が東大寺領荘園に選定されたのは、周辺に蘇我氏や石川氏、礪波の臣など奈良時代の中央政府につながる有力者の所領が多くあったことが背景にあると指摘され、また、当時の鴨川は広上から放生津へと流れ、荘園から産出した米等を舟で運搬していた、との話も伺いました。



浅井っ子教室 書道カレンダー

12月12日(土) 10:00～11:00 13:30～14:30

《講師》寺崎 英恵先生

午前・午後各4名、合計8名の参加者と少ない参加者であったが、先生にしっかり指導していただける人数で丁度良かった。そして、自分の「書きたい字」を先生にお手本で書いてもらったため、皆集中して何回も練習してから清書に臨んでいた。

またカレンダーに手形を押して、その上に習字を書いたので、「今年の手形と字」として成長の証を残すことができると、お父さんやお母さんから好評であった。



縄跳び教室

12月19日(土) 10:00～11:30

《講師》窪 哲志 先生

今年の縄跳び教室の参加者は14名でした。雪の降る寒い日でしたが、講師の先生は、楽しいウォーミングアップで十分に体を温めてから、まったく縄跳びが飛べない子から、2重飛びを何回も飛べる子まで、技術に差がある子供たちのレベルに応じて、跳ぶコツわかりやすく指導してくださいました。

また、縄跳びしっぽとりやなわ回し、つないで電車ごっこ等縄跳びを使った遊びも取り入れ、どの子も笑顔で縄跳びを楽しんでいました。

